

平成 29 年度第 1 回理事会議事録
公益社団法人日本滑空協会

開催日時：平成 29 年 5 月 14 日 13:00～17:00

開催場所：航空会館 506 会議室

会場で配布された議案資料および理事から提案のあった案件について審議・裁決を行った。
会長および常務理事が一般社団法人法上の業務執行理事として報告を行った。

開会および定足の確認

定款 37 条に基づき、会長が議長を務めて開会を宣言、全役員出席で理事会定足を満たし、理事会が成立することを確認。

理事会出席者：役員全員

相島正敏(理事)、井上善雄(常務理事)、甲賀大樹(常務理事)、後藤昇弘(会長)、佐志田伸夫(理事)、篠原治男(理事)、谷口良知(監事)、玉中宏明(理事)、日口裕二(常務理事)、丸山毅(理事)、八尾正孝(理事)、吉田正克(監事)

議事録署名人

定款第 41 条 2 項に基づき、議事録署名人は後藤昇弘会長、谷口良知監事および吉田正克監事が務める旨、会長が宣言。

議長挨拶

本日は 6 月 4 日（日）14:00～17:00 航空会館 B-102 会議室で開催される当協会平成 29 年度総会の議案を決め、業務執行理事の報告を行うことである。

理事会議案

第 1 号議案：平成 28 年度事業報告（総会報告事項）および決算報告案（総会決議事項）並びに監査報告
第 2 号議案：平成 29 年度事業計画および予算（一般報告事項）

議案および理事提案の説明

*理事会前日にメール添付で各役員に送り、当日配布した資料（平成 28 年度事業報告および決算（案）、平成 29 年度事業計画および予算、監査報告書、ならびに以上書類の概要を含めた平成 29 年度総会案内）をもとに総会議案としての審議を行った。

決議

第 1 号議案、事業報告について一部字句修正を加えること、決算報告に平成 28 年度予算案を追記すること、で採決された。

第 2 号議案、一部字句修正を加えて採決された。

議案および総会案内についての質疑応答

1. 総会案内

*総会欠席会員からの議決権行使に①直接裁決、②特定会員への委任に加え、③棄権、を追加する提案があり承認された。(甲賀)

*議決権行使について、委任を行ったが無記名の場合、議長への委任とさせていただき記載が適当で無いとの意見があった。(日口) これについて法人法を調べたが、該当する項目は見当たらず、無記名委任は議長への委任とすると明記することにした。(事務局長 甲賀)

*その他字句、誤字訂正などを行った。

2. 第1号議案(平成28年度決算案)

総会案内の決算案に平成28年度予算案を追加し、差異の大きな費目に説明を付けるよう提案があり、承認された。(日口)

3. 第2号議案(平成29年度事業計画および予算)

補助金を予算および決算に入れた場合、来年度予算枠や助成金額が事業計画や決算と時期的に合わないため、助成金分を予算案に掲載せず赤字にする場合もあるようだが、当協会はその時点で得られる金額を記載し、変更があった場合修正する方式とする。(事務局長 甲賀)

理事業務報告

後藤会長

2月11日(土) 於航空会館 平成28年度第3回理事会 平成29年度事業計画および予算策定

3月19日(土) 於妻沼滑空場 全国大会閉会式出席

3月末 内閣府への平成29年度事業計画および予算報告ならびに関連事務処理終了および平成29年度総会に向けた諸準備を事務局で行っている。

井上常務理事

埼玉スカイスポーツフェスタ(SSF)実行を担当しており、2017は10月22日(日)開催、昨年並みに実施の予定で準備を進めている。今年はレッドブルのデモを除き、モーターグライダーの体験飛行を実施する。気球、パラ、ハング、マイクロライト、パラモーターなどは風に弱いので、天候次第の面がある。Web申込にして以来、埼玉東京以外からの申込が増えた。

甲賀常務理事

滑空機の死亡事故防止を強力に推進するため、10月29日の滑空安全会議(航空会館100名参加)以後、各地で6回の滑空スポーツ講習会を開催し、累計200名に聴講していただいた。スピンに対する注意喚起を含めた各種キャンペーンの効果か、10月以後滑空機事故は発生していない。

日口常務理事

*新設された小型航空機等に係る安全推進委員会に対してオブザーバーとして出席している業務について説明。使用事業は認可の段階で統制できるが、自家用航空機、自家用操縦士の統制に関する委員会で、自家用操縦士への直接的な情報提供。HP、メールアドレス収集および機器を搭載して飛行の安全確保などを討議。

*平成29年度滑空スポーツ講習会開催について全国滑空団体の要望を取りまとめ、纏めている。

*平成29年度クラブミーティングを滝川で開催することで準備している。

玉中理事

指定養成施設の概要ならびに平成28年度活動についての報告。

相島理事

過去に撮影したキャノピーのサイドストリングおよび毛糸を貼った主翼面の気流の流れのビデオを紹介した。サイドストリングは簡易ストールアラームの代替になるかどうかのデモ。費用がかからず

精度もありそうだが、アラームとしては視力にたよらずオーディオで入るほうが望ましい。

ASK21 および ASK13 両機の撮影結果があり、ASK21 は翼表面の気流がスピンの中ほとんど乱れない状態が記録され、ASK13 はスピンの中内側の主翼に逆流が現れ、近い軸でスピンする機体特性を良く表している。

その他 計画未了のため事業計画に載せないが、以下が議論された。

*事故に至らないヒヤリハット事例の集計：一部滑空団体で様々な工夫を加えて収集が始まっている。全国規模で集約し、専門技術で分析して事故防止効果を上げたい。

*日本滑空記章制度のアップデートの必要性が出て久しい。有力な実行案が待たれる。

*外部委員会活動、助成金制度活用などで説明があった。

閉会

以上を以てすべての議事を終了し、17:00、議長により閉会が宣言されました。

平成 29 年 5 月 14 日

公益社団法人 日本滑空協会

議長 会長

後藤昇弘



議事録署名人 監事

谷口良知



同 監事

菅田正志



議事録作成人

甲賀大樹

